

2022 年度 日本医療検査科学会 第 2 回生理検査委員会
議事録(案)

日時:2022 年 10 月 8 日 14 時 30 分 ～

場所: 神戸国際会議場 打ち合わせ室 405 (WEB 併用)

出席者: 古川泰司、東條尚子、田邊晃子、代田悠一郎、眞崎桂、朝日佳代子
大川龍之介(担当理事)

WEB出席:竹内正明、尾本きよか

欠席者:小笠原(大村)直子 (敬称略)

報告事項

1. 前回議事録について、確認された。
委員会後、特に訂正連絡はなかった。
2. 新任委員について、今回より、眞崎、朝日両先生の参加があり紹介された。
大門雅夫先生については、一旦連絡したがその後返答などの進展がない状況であると報告された(後述)。
3. 2021 年の活動報告として以下の事項について報告された。
 - 1) 2020 年アンケートの総括報告・心電図の掲載
医療検査と自動化 校正は終了している
 - 2) 2022 年アンケートアップデートの概要
 - ① ISO 15189 認定施設数
前回 2019 年度末の認定施設 170 施設 うち生理あり 124 施設
集計 69 施設
2022/3/20 現在 266 施設 うち生理あり 171 施設
返答あり、110 施設
 - 3) 上記結果について、翌日の技術セミナーで開示されることが報告された。

審議事項

1. 委員会活動方針について
 - 1) 委員会アンケートについて
 - ① アンケート実施間隔と施行方法については、今回の結果を踏まえて検討していくことが確認された。ISO 15189 新規認定施設の増加状況を鑑みると、少なくとも 3-4 年に一度は全体として、データアップデートが必要であると了解されている。
 - ② 心電図、脳波でのシミュレーター巡回配布について
(外部精度管理代替えアプローチ構築)
今般、ISO 15189 認定施設で、生理機能検査を認定範囲に含む施設でも、相当数(約 1/4)の施設で、測定機器の業者メンテナンスが行われていない事が明らかとなった。また、外部精度管理活動があれば、参加希望する施設は相当数に上る。。
 - 2) 外部精度管理代替えアプローチ構築
 - ① 上述アンケート結果を踏まえ、委員会活動として、外部精度管理に類する調査を行うことが望ましいと判断された。
 - ② 具体的には、心電図・脳波については、波形シミュレーターがあり、相当数の施設がこれを用いた内部精度管理業務を行っている事より、なるべく少数のシミュレーターを多施設に巡回して、施設間差の評価を行う事が起案された

- ③ これを、可能とするため、まずシミュレーターの借用ができないか、ベンダー（フクダ電子、日本光電）に依頼をかけてみることとなった。
- ④ 巡回配付に関わる郵送費については、具体的方法（機器数、配付施設数など）の概要が決定した時点で、学会費用として認めてもらう様要望する方向となった。
- ⑤ 呼吸機能検査、超音波検査についても外部精度管理活動が必要であることはあらためて認識された。具体的に可能な方法については、検討していくこととなった。

2. 分野別の活動について

1) WG 対応について。

- ① 新任委員推薦や事務局対応について。ISO 15189 生理分野の認定 4 範囲（呼吸、心電図、超音波、神経）について、各分野での参加者を募りたいが、委員の専門分野以外の人員については、相互に詳しくない事が多く、それぞれの専門分野委員から働きかけるのが妥当と思われる。
上記、超音波分野の大門先生についても、一度超音波分野から、お声をかけて頂く事となった。
- ② ゆくゆくは、委員会内に各部門の WG を作成するのが望ましいと認識されている。

3. 委員長交代について

- 1) 学会の内規にて、各委員会委員長は、2 期 4 年が限度とされており、今般交代対応が必要であると認識されている。
- 2) 内諾対応：委員会では、東條尚子委員に交代方向で承認された。

4. その他

特に発議はなかった。
以上

その後の対応：

- 本大会中の理事会にて、各委員会委員長の年齢制限について決定され、広報が同委員会翌日になされた。委員会開催時に、各委員は同情報を得ていなかったため、委員長交代について、上記承認がなされたことを説明し、事務局に同決定を承認してもらう様連絡したが、理事からの決定として、東條尚子委員の委員長就任は承認されなかった。
- このため、現委員長は、代田悠一郎委員を次期委員長として推薦し、メール稟議を行い、各位委員より反対意見は出されなかった。
- 上記決定を、事務局に連絡した(2022/11/25)